

伊敷団地まちづくりニュース

第
6
号

～団地活性化に向けた勉強会を行いました～

令和元年 12月 24日発行

市では、若者から高齢者まで多様な世代が暮らす活力ある団地づくりを目指して、平成30年度からの約3年間で、具体的な取組みについて検討を進めています。

今回は11月26日に開催した第6回ワークショップの概要についてご紹介いたします。

第6回ワークショップ

日時：11月26日(火) 18:30～20:30

場所：西伊敷福祉館

第6回ワークショップの流れ

団地活性化に向けた他の団地での実際の取組みの勉強会を行い、10年後、20年後にどのような団地を目指すのか、そのためにはどのような取組みが必要か等について意見交換を行いました。

① 団地活性化に向けた勉強会

小山先生による他団地での取組みについての講義や、学生による高齢者の外出に関するアンケート結果の報告が行われました。

また、ワークショップをきっかけに始まった「はじめの一步」の取組みの状況について発表が行われました。

② 意見交換

勉強会の内容を踏まえて、伊敷団地では今後どのような取組みが必要かなどについて自由に意見交換しました。

③ まとめ



大学生による発表の様子



意見交換の様子

次回のお知らせ (※申し込みは不要です)

【第7回ワークショップ】団地活性化に向けた取組みを具体化しよう

日時：令和2年1月29日(水) 18:30～20:30 場所：西伊敷福祉館

皆様のご参加、ご意見お待ちしております！

※ワークショップとは…話し合いを通して、自由なコミュニケーションを行いながら、何かを作り上げていく手法の一つです

～団地活性化に向けた勉強会～

これまでに団地活性化に向けてワークショップを開催している3つの団地（伊敷・西郷・皇徳寺）では、どんな話がでたのか、どんな取組みが動き出したのか、鹿児島大学の小山研究室から発表していただきました。

「鹿児島市郊外住宅団地における高齢者の外出行動に関する研究」（卒業論文中間報告）

高齢化の進む団地で快適に住み続けていくために、団地に住んでいる**高齢者の外出状況**を調査しました。

7～8割が週の半分以上外出しているという結果になりましたが、**80歳を境に外出頻度や外出手段が大きく変化**しています。

80歳以上になると、自分で**車を運転するのが難しく**なり、代わりに、伊敷団地では「**バス**」の割合が増加することがわかりました。



「3団地でのワークショップを通じて考えるこれからの団地活性化」



団地の課題は「高齢化」そのものではなく、団地の空間やサービスが**高齢期の暮らしに対応できていない**ということです。

3つの団地（伊敷・西郷・皇徳寺）は**開発後の経過年数（＝高齢化の段階）**が異なるため、5～10年単位で生活環境や課題も変化していきます。

皇徳寺団地（開発から約30年）では、現役世代も多いため、地域活動の**担い手不足が課題**になっています。

西郷団地（開発から約50年と約30年が混在）では、**事業者の理解や多世代・専門職の参加**のもと、具体的な取組みが始まっている状況です。

伊敷団地（開発から約50年）での取組みの背景を分析すると、**退職世代の存在、団地二世の存在、小学校やコミュニティ協議会の存在**が大きいと考えられます。

全国では、ボランティアによる**お出かけ支援**や、空き住戸を改修した**高齢者支援住宅**、集会所を利用した**子ども図書館**などに取り組んでいる団地もあります。

第一歩目の取組みの輪を広げていくために、**団地内の情報を発信・共有**すること、**団地間で意見交換・交流**すること、**民間事業者と連携**することが大切です。



西郷団地：まちあるき



大阪府公社：子ども図書館

～意見交換～

伊敷団地での現在の取組み状況や他団地の事例を踏まえて、自分自身が伊敷団地でこれからやりたいこと、できることについて自己宣言をしてもらい、全体で共有しながら意見交換しました。

💡 地域交流

- ・フリーマーケットやカフェに参加してみたい。
- ・たくさんの小コミュニティづくりをしたい。歩いて来られる距離に人々が気軽に**集まれる場所が丁目ごと**にできたらよい。
- ・自宅と職場が一体となっているから交流の場を提供できる。
- ・脳トレーニングゲームなど、**子供世代と高齢者世代で交流**できるイベントを開催。
- ・あいさつに一言添えて、少しずつ**身近なところでコミュニケーション**をとる。
- ・さまざまな**趣味や特技を持った人**たちを引き出して、学校や地域につなげていけるとよい。



💡 高齢者の見守り

- ・**高齢者の見守り**に関わりたい。近所の高齢者の異変にすぐに気付いてあげられるような仕組みを考えたい。
- ・ご近所とうまくいっておらず、介護にも行きたがらない高齢者のもとを、**用事をつくって訪問**したい。
- ・仕事の合間などに、高齢者の**買い物、病院などの手伝い**をしたい。



iがずんばい Nishiishiki チーム からの報告

～フリーマーケットの開催～

- ・前回ワークショップにて、「集まる場所づくり」のため**のはじめの一歩の取組み**として、**フリーマーケット**を開催したいという意見が出ました。
- ・その時のグループメンバーで話し合い、「**iがずんばい Nishiishiki**」というチームが誕生しました。
- ・活動コンセプトを決め、フリーマーケットイベントを「**いっだんちのわ**」と名付けました。
- ・当日は、出店や折紙、福祉相談ブースなどを用意し、**子どもからお年寄り**まで多くの方に楽しんでいただきました。



💡 空き家等の活用

- ・空き家をリノベーションし、**古本や読み終わった雑誌を持ち寄って図書館**にしたい。カフェを併設することで交流の場としても期待できる。
- ・実家の一階を活用したい。どのような需要があるか知りたい。
- ・**空き家と使いたい人のマッチング**をするために、どこに使える空き家があるか調べて空き家マップを作る。



💡 バス交通

- ・ほかに**交通手段がない**ので免許を返納できない人がいる。具体的に困っていることを明らかにし、何ができるかを考えたい。



💡 用途地域

- ・**用途地域**※の見直し。20年以上前から課題となっている。

※用途地域：住居・商業・工業用など、土地の使い方を定めたもの

💡 情報発信

- ・SNSを使って個人でも情報発信できるが、まず**西伊敷の魅力を知るところ**から始めたい。
- ・団地の入口に看板を設置して、伊敷団地の内外にアピールする。毎月1日はみんなで掃除をしましょうなど、月に1回でも交流の場になる。**小さなこと、できること**から意識付けをする。



鹿児島市ホームページ 住宅団地の活性化に向けて



過去のまちづくりニュースや、次回のワークショップ開催予定などもご覧いただけます。

<https://www.city.kagoshima.lg.jp/kensetu/toshikeikaku/toshikeikaku/danti.html>



フェイスブック 鹿児島市 住宅団地ワークショップ



ワークショップに参加している大学生等によって運営されています。最新的话题をお届けしています。

<https://www.facebook.com/kagoshimashi.jutakudannchi.workshop/>

- 鹿児島市 都市計画課（担当：井上、諏訪田、宮）

連絡先：099-216-1378 FAX：099-216-1398

メール：toshikeikaku@city.kagoshima.lg.jp

- ランドブレイン株式会社 鹿児島事務所（業務受託事業者）

連絡先：099-210-9091（担当：大脇、岩切）